

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【与野南中学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 各教科で定着率の低い分野・単元が散見され、知識として十分に定着していない。</p> <p><指導上の課題> 生徒が自らの課題に向き合い、苦手分野を把握させるための指導が行き届いていない。</p>	<p>⇒ ①教科と単元の特性に応じて「単元内自由進度学習」を取り入れ、スタディサプリやドリルパークを活用して生徒の学習段階に応じた課題を選択させ、生徒の理解度に応じた個別の指導を行う。 【①教科や単元の特性に応じて年間を通して実施】</p> <p>②話し合い活動やタブレット端末上での意見共有ツールを活用した協働的な学びの機会を設定し、「学び方を学ぶ」指導を継続的に行うことで、生徒の学びの自主を図る。【②各単元で1回以上実施】</p>
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 読み取った情報を目的に応じ取舍選択したり、適切に要約したりする力が不足している。</p> <p><指導上の課題> 学んだことを要約をしたり、互いの考えを伝え合ったりする活動を行わせること、十分な趣意説明を行い生徒に目的を持って学習活動を行わせることが不十分である。</p>	<p>⇒ ①単元導入時や授業開始時にミニガイダンス(学習課題の確認)を設定し、生徒が学習の見通しを立て、目標を生徒がもてるようにする。 ②教科や単元の特性に応じて、学習課題や作品づくりに取り組む際にICT機器を効果的に活用し、友だちの考えを知ることによって自己評価につなげる指導を行う。【①・②年間を通して実施】</p> <p>③各教科の授業で、調べた内容やデータから自分の考えをまとめ、根拠をもって説明する場面を設定する。【③年間を通して実施】</p>

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現		結果提供(7月)

調査結果分析(7~8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)